



PTA新聞 おきなわ

発行
(一社) 沖縄県PTA連合会

〒900-0002
那覇市曙2-26-27
TEL (098) 867-3582
FAX (098) 867-0309

責任者 石川 謙

会長独占インタビュー

(聞き手) 広報委員 奥間由紀江

平成29年度 定時社員総会が6月3日、那覇市曙の県PTA会館で開催され、新年度の役員が決まりました。今回は沖縄県PTA連合会会長として2年目を迎えた石川謙会長にインタビューを行い、これまでの自身のPTA活動経験や今年度の県PTA活動方針についてお話を伺いました。



会長 石川 謙

PTA活動経験を通して

(奥間) 単P、地区P、県P 会長を経験されてそれぞれの役割の違いや大切に思っていたことはありますか。

(会長) 単Pにて・・・初めてPTA役員(単P副会長)を引き受けたのは9年前でした。その時からPTA活動へ積極的に参加する会員が減少する傾向にあり懸念事項でした。一番変えたのは、総務部の活性化でした。具体的には、名簿の電子化で「一人一役」を担ってもらうために数百名の会員名簿をすべて手書きで宛

名書きなどを行っていたのをデータ入力して処理しやすいように改善、その手間がはぶけた分、他の活動に力を注ぐことができ総務部が活性化しました。

地区Pでは・・・各単Pによって得意分野や役割があり、その強みを活かしてもらえよう連絡をしっかりと取りあいました。さらに三役と事務局がしっかりと連携をとり助け合うことが大切だということもわかりました。

県P・・・九州PTAおきなわ大会開催の年、副会長を拝命しました。私の役割はここでも事務処理効率化のためのIT化だったと認識しています。会長2年目の今年、昨年はできなかつたことを実現させた

地域連携について

いと考えています。それは、ホームページをリニューアルすることです。理想としては各地区PTA、単位PTAが自由に情報を発信でき、参考になる活動を自由にアップできる県Pホームページなのですが、出来る限りを近づけていきたいですね。

(奥間) 地域との関わりで大切にしていることはありますか。

(会長) 地域行事や会合には出来るだけ顔を出し、地域で活動している団体とコミュニケーションをはかっています。お互いに顔を知っていることで協力しあえる関係でいられるのではないかと考えています。現況ではPTA単独での活動には限界があります。地域連携こそが、活動の幅を広げると考えています。

子育てや家族について

(奥間) 子育ての経験について教えてください。

(会長) 子どもたちをもっと褒めて育てれば良かったと反省しています。犬を飼い始めたとき、犬に対する妻の接し方を見て気がつきました。犬はすぐに妻になつききました。私は叱ってばかりなのでなついてくれません。「褒め上手は育て上手」とよく言われます。

(奥間) 女の子たちなので、きつと今からでも大丈夫ですよ・・・

所感

「PTA活動の中で一番楽しいことは「立哨活動」です。やはり子どもたちと



平成29年度 執行部

左から石川会長、中沼副会長、城間副会長、下地副会長、平井副会長、古堅事務局長

関わっているときが一番幸せを感じます。」と淡々と語る石川会長。そして家族や子育てについてお聞きした際、「お父さんは、女心と犬心はわからない」と娘さんに宣言されたことを明かし、はにかんだ笑顔が印象的でした。会長の温厚な人柄が垣間見られることも和やかな時間でした。沖縄県PTA連合会の新たな局面が今年みえてくるかもしれません。お忙しい中インタビューへのご協力ありがとうございました。(新垣早苗)

伝えたい！届け！！
我が校の広報紙！

第28回 沖縄県PTA
広報紙コンクール

第28回 県小中学校PTA広報紙コンクール(主催・県PTA連合会)の最終審査が5月18日、那覇市曙の県PTA会館で開かれた。沖縄タイムス社から奥村敦子氏、琉球新報社から比嘉良行氏、沖縄県教育庁生涯学習振興課から喜瀬典彦氏、県PTA連合会から石川謙氏、28年度広報委員長末吉建作氏の5人を審査員として審査を行った。

小学校60校、中学校33校の応募があり、企画性や地域との連携、内容やレイアウトなどを総合的に審査した。

最優秀賞

中学校の部

小学校の部
「まかんちゅ」「2年連続」
真嘉比小学校PTA (那覇市)

中学校の部
「いちまん」
糸満中学校PTA (糸満市)



優秀賞 ⑤から桑江中PTA、山田幼小中PTAの広報紙

①最優秀賞 糸満中PTA「いちまん」

	受賞校	広報紙名	講評
最優秀賞	糸満中PTA	いちまん	<ul style="list-style-type: none"> 生徒のスマホ調査、PTA会長インタビュー、父母へのインタビュー、検定チャレンジの子への質問、面白い記事が多い。企画性が良かった。 糸満中PTAの特徴のある活動を的確にとらえている。スマホ問題、提起もリアルタイム。 内容的に良く、もう少し構成をすると更に良い。
優秀賞	桑江中学校PTA	みいはま	<ul style="list-style-type: none"> スクールソーシャルワーカーの特集が良かった。職員紹介も工夫している。 表紙のパワーを感じる。写真の使い方が大胆。PTAトピックスが等分割が意外と見やすく新鮮。
優秀賞	山田幼小中学校PTA	ていんがーら	<ul style="list-style-type: none"> まず、表紙の目次が嬉しい。「むかしは山田っ子」「地域の星のかげら」も楽しみな読み物。 地域との繋がりの深さが伝わってくる。 地域連携は抜群。シリーズの企画も楽しみ。
優良賞	座間味幼小中学校PTA	ぼんみかさあ	<ul style="list-style-type: none"> 年4回発行して内容も良く、地域との情報もある。 見出しの置き方が工夫されている。
優良賞	南風原中学校PTA	黄金の森	<ul style="list-style-type: none"> 内容も豊富で、PTA活動もしっかり載せている。 レイアウトが整理されていて読みやすい。
優良賞	長嶺中学校PTA	若き鷹	<ul style="list-style-type: none"> レイアウトにメリハリがある。 行事告知や活動紹介など日付入りで分かりやすい。
奨励賞	東江中PTA	なんぐすく	<ul style="list-style-type: none"> 表紙にPTA役員、親睦バレーと、Pと子の活躍に焦点。この編集方針は、Pの活気が感じられる。
奨励賞	与那原中学校PTA	ひので	<ul style="list-style-type: none"> 題字や4コマ漫画、俳句など生徒に役割を与えているのが目をひく。地味な活動にスポットも好感。

来年1月14日に開催される、第59回沖縄県PTA研究大会(国頭大会)で表彰式が行われ、入賞作品は同大会の第5分科会(広報活動)会場と全体会会場で展示されます。

入賞作品小学校6点・中学校4点を日本PTA広報紙コンクールへ出品



小学校の部



最優秀賞 ⑤真嘉比小PTA「まかんちゅ」
優秀賞 ⑥から那覇小PTA、与那原小PTA、とよみ小PTA

	受賞校	広報紙名	講評
最優秀賞	真嘉比小学校PTA	まかんちゅ	<ul style="list-style-type: none"> レイアウトがコンパクト。全体的に、地域で子を見守っているという安心感を父母に与えている。 夜間パトロール、豊年祭と地域の伝統の力も感じる。 職員紹介が工夫されている。 健康、安全、居場所子ども達のために何をしたらいいかがテーマになっている。
優秀賞	与那原小学校PTA	綱 TUNA	<ul style="list-style-type: none"> フロントページの作りが上手。めくりたくなります。 アイデア満載。インパクトのある写真を表紙に使っているのが特徴的。 裏ページの「朝ごはんメニュー」はいい。カラーなので仕上がりが分かる。
優秀賞	とよみ小学校PTA	とよみ	<ul style="list-style-type: none"> 安全ルールや詳しいPTA活動の役割を周知している所が目的意識を感じる。 裏表紙の専門委員会活動報告は、その活動がよく分かる。合わせて子ども達の活動紹介も4号ともに表情があり分かりやすい。
優秀賞	那覇小学校PTA	ちこタイムス オレンジちこタイムス	<ul style="list-style-type: none"> 「オレンジ」は、タイムリーな情報に加えて、PTA総会のQ&A、トイレピッカピカ大作戦、運動会パトロール報告、役員選出の方法、時期など丁寧です。 2種類の広報紙をうまく使い分けている。 オレンジの一色刷りはスピード感、情報量抜群。
優良賞	北丘小学校PTA	PTA新聞きたおか	<ul style="list-style-type: none"> 7/19日号「教師が金メダラー」の発想が面白い。情報提供がコンパクト。写真の使い方がうまい。
優良賞	津嘉山小学校PTA	つかざん	<ul style="list-style-type: none"> 定期的読み物が2本ある。レイアウトは目が行きやすい。カラフルで楽しさが伝わってくる。
優良賞	座安小学校PTA	がじゅまる	<ul style="list-style-type: none"> 文章の内容が充実していて、読みごたえあり。「Z」の工夫は面白い試み。
優良賞	坂田小学校PTA	さかた	<ul style="list-style-type: none"> コンパクトで、整然としたレイアウトがいい。読みやすい、記事も長すぎず、写真扱いがうまい。
奨励賞	美里小学校PTA	MISATO	<ul style="list-style-type: none"> 1/6日号に、ボランティアを紹介したのは良かった。写真が豊富で読みやすい。
奨励賞	美原小学校PTA	あかがわら	<ul style="list-style-type: none"> レイアウトは、見開きで面白い。学校活動がよく分かる。

木もれ陽 「六論のころ」で一人一人がかがやく名護小学校

本校は、明治十五年に開校し、今年で百三十五年になる。名護市街の中心に位置し、児童数八百十八人で、国頭地区で二番目に規模の大きい学校である。

本校教育の特徴は、名護の聖人「程順則」の残した教えを分かりやすく編集した「市民のための六論 衍義」六論のころ(一名護市教育委員会発行)をもとに、豊かな心の育成に生かしているところである。子ども達は幼稚園から「六論のころ」に触れ、日々の振り返りに繋げている。その内容は「①孝順 父母―お父さんお母さんを大事にし、その教えをしっかりと守る ②尊敬長上―目上の人を敬い、お互いの良さを認め合う ③和睦 郷里―ふるさとの人や自然を愛し、みんな仲良く助け合う ④教訓子孫―学習を大切にし、基本的な生活習慣をしっかりと身につける ⑤各安生理―自分の立場を理解し、やるべ

きことをしっかりと成し遂げる ⑥母作非為―いつでも自分の行いを反省し、悪いことはしない」である。五十周年記念誌でも、六論の教えを生かし、名護を教育の町にする旨が記述されており、現在もその教えが引き継がれていることは素晴らしい伝統と言える。

道徳の時間のみならず、あらゆる教育活動の中で、「六論のころ」に触れ、幼稚園児であっても、「六論のころ」のそれぞれについて行動を振り返りながら繋げることができるようになっている。全体集会では、本校オリジナルソング「六論のころ」の歌を歌い、その思いを共有している。去年新校舎が建ち、今年創立百三十五周年事業を進めているところである。子ども達の更なる教育環境の充実繋がるものと大きく期待している。

名護市立名護小学校

校長 渡久地 義幸

我が家の子育て

食べることは生きること 我が家なりの子育て方法

「朝ごはんだよー起きなさいー!」我が家は毎朝、私の家族を起こす大声から始まります。

高一は週に一回、高二は週に二回、高三では週に三回、自分で自分のお弁当作りをすることに挑戦してみよう』を提案し、本人も承諾。意外にも息子は「面白そう」と、乗り気で高二となる現在週に二回のお弁当作りを楽しんで行っています。

この春から中学一年生に進級した長女・中二の二男・高二の長男・社会人二十七年目の主人と決まってこの順番で起床し、身支度を整えてから配膳の手伝いをしてくれます。長男が中学生になり、制服着用となつてからは、自分の制服は自分でアイロン掛けを我が家の

更長男が高校に合格したその日、親子で話し合いもうひとつ我が家のルールに加わったのが、「食について」です。『高校を卒業して親元を離れるその時までは自立した人となるべく、生きる力をつけるよー!』まず、第一に食べること。その第一歩として、私がPTA活動の為、会合などで遅くなる時は私のポリシーとして、おかずは必ず作り食卓にセットして出掛けるのですが、我が家のごはんは土鍋炊きなので、早く帰宅した子ども達どちらかが炊いてくれます。その他洗濯物を取り込む等、皆が家事を協力して出来る

沖縄県PTA連合会

副会長 下地 イツ子

平成29年度 沖縄県PTA連合会役員

- 1 会長 那覇 石川 謙
- 2 副会長 中頭 城間 一
- 3 " 島尻 中沼 豊
- 4 " 那覇 下地 イツ子
- 5 " " 平井 りい子
- 6 常務理事 (事務局長) 古堅 宗男
- 7 理事 国頭 稲嶺 一馬
- 8 " " 島袋 誠
- 9 " 中頭 濱比嘉 健
- 10 " " 加島 幸治
- 11 " " 米須 清一郎
- 12 " " 新垣 早苗
- 13 " " 藤波 潔
- 14 " " 桃原 隆幸
- 15 " 那覇 関戸 塩
- 16 " " 伊禮 靖
- 17 " " 手登根 宏
- 18 " " 柴 二三夫
- 19 " " 荻堂 盛嗣
- 20 " " 伊良波 尚美
- 21 " 島尻 島崎 朋広
- 22 " " 棚田 彰夫
- 23 " " 石丸 乃り子
- 24 " " 知念 由紀
- 25 " 宮古 源河 雅人
- 26 " 八重山 上間 喜仁
- 27 監事 国頭 末吉 司
- 28 " 島尻 前里 輝明

第20回

裏方一番



【本部小学校 お父さんに よる本の読み聞かせ】

本部小学校では毎週火曜日の朝、授業が始まる前の10分間「本の読み聞かせ」が行な

われています。文化教養部を中心に保護者や地域のボランティアの皆さんが参加しています。幼稚園生から6年生までの各クラスでは静かに聞き入っています。

そんな児童たちも毎年楽しみにしているのが、「お父さんによる本の読み聞かせ」です。毎年6月の日曜参観日に



読み聞かせをしている様子

という短い時間にお父さん方は緊張しながらも楽しんでる様子で「時間が足りなかった」や「これも読んであげたかった」との声。児童たちの聞く態度にも感心した様子で「こんなに静かに集中しているとは」と初めて参加したお父さんは驚いた。児童たちからは「お父さんが絵本を読ん

でくれた」、「今度はうちの お父さんにやってもらいたい」と大好評。 お父さん方、たまにはお母さんとバトンタッチしてみたいかがでしょうか。

通信委員

仲間里枝



図書館に集まったお父さん方

第22回

我が校区の文化・歴史遺産紹介

ハーリー発祥の地とみぐすく

沖縄では、旧暦五月四日(ユッカヌヒー)が近づく「ハーリー鐘がなり梅雨があける」といわれ、県内各地でハーリー行事が行われます。我が地では、一般的に使われるサバニ舟とは違い、龍の頭と尻尾が付いた一風変わった舟を使い、ハーリー大会が行われています。実はハーリー行事の始まりが豊見城市ということ、あまり知られていません。

沖縄の古い文献「琉球国由来記」や「球陽」によると南山王承察度の甥「汪応祖(第二代南山王)」が、中国南京の国子監へ留学したさいに見た龍舟競漕に感懐し、豊見城城下の入り江(漫湖)で、龍をかたどった舟で景福(ユカフー)を祈願し、

「球陽」では、ハーリー行事の始まりについては、三説あると記述されていますが、汪応祖説(豊見城)が最も多くの記録が残り、ハーリーが王府行事として発展継承されてきたことが伺えます。更に、豊見城城址北側(漫湖)に架けられたとよみ大橋に連結した「爬龍橋」において

豊見城龍船協会は、この埋もれかけていた地域資源を発掘し、古式に倣い廃藩置県以来途絶えた神事ティミグシクヌブイ(ハーリー御願)を復活・継承し、市内に石碑や歌碑の建立、さらには龍舟を建造し新たなハーリー大



呼吸を合わせハーリーを漕ぐ生徒達

に刻まれています。この埋もれかけていた地域資源を発掘し、古式に倣い廃藩置県以来途絶えた神事ティミグシクヌブイ(ハーリー御願)を復活・継承し、市内に石碑や歌碑の建立、さらには龍舟を建造し新たなハーリー大

このような経験を積んだ生徒達が、将来地域コミュニティ(共同)の中心になった時、活気に満ちたまちの推進役になると信じています。皆さんも、豊見城市の龍舟(ドラゴンボート)を漕いで、ユカフーを祈願してみたいかがでしょうか。

(ゆたか幼小PTA 総務副委員長 大田正樹)



ハーリーを応援する生徒達

**平成29年度
食育シンポジウム**
「生涯にわたって心豊かにたくましく
生きる力をはぐくむ食育の推進」
～ういひゃー・でーじなとん！
できることから始めよう～

主催
沖縄県教育委員会
沖縄県PTA連合会 他

日時：平成29年 7月29日(土)
会場：読谷村文化センター 鳳ホール

開催!

加入してよかった！みんなに勧めよう！
保護者の皆様の強い要望から生まれた
沖縄県PTA 連合会推薦の ——
『小・中学生総合保障制度』
(こども総合保険)

AIU保険
Member of AIG =引受保険会社=
A I U損害保険株式会社 沖縄支店
=保障制度に対してのお問い合わせは=
◆小・中学生総合保障制度事務局◆
(あい保険工房内)
住所 : 〒901-2126 浦添市宮城2-24-2
TEL : 098-878-0025

編集後記

新役員も決定し、県PTA連合会が無事スタートを切ったことに一安心です。これから徐々にギアを上げ、フルスロットルで突っ走ってもらいたいものです。

今年度第1号です。「広報紙コンクール」の発表を行いました。入賞作品と次点作品の差がなく、審査員の頭を大いに悩ませました。そこで今回特別に、兼原小学校PTA「かねはら」に広報委員長賞を贈ります。この審査をもちまして昨年度広報委員長のお役ご免とし、新年度委員長の外間隆史さんに引き継ぎます。これからも県PTA広報紙に対して、厳しい目を注ぎながらも、あたたかく見守って下さい。

平成28年度広報委員長 末吉建作
広報委員：末吉建作 (那覇) 新垣早苗 (中頭)
奥間由紀江 (中頭) 外間隆史 (島尻)
通信委員：仲間里枝 (国頭) 伊波孝子 (宮古)
鬚川美穂 (八重山)

100の家庭に100通り
子育てには絶対正しいという方法はありません。今も昔も同じ、井戸端会議風にざっくばらんな会話の中から、智恵や答えを見つけていきましょう。

夢実現 親のまなびあいプログラム
出来ることから始めよう!
PTAや仲間・お友達と集まる機会に
プログラムを体験してみませんか?

参加者の声

保護者同士の意見交換の場にもなり、とても良かったです。
初めてでしたが、楽しく参加できました!
いろいろな方の意見を聞くことができて、やっていたいと思える方法も知る事ができました。
いろいろな意見が飛び交った中にも、今後にいかしたい。
話しやすい雰囲気なので、会話が弾みました!
家庭のルールが大切なのは分かってはいたが、どのように子どもに頼りながらルールを決めたらよいのか悩んでいた。みんなの意見が参考になった。
子育てをする上で、情報の共有はとても大事だと思いました。

プログラム内容 お子さまの年齢別で開催!

幼児期の子どもをもつ保護者の方向け	生活習慣	基本的な生活習慣	小学校高学年の子どもをもつ保護者の方向け	生活習慣	睡眠
	学習環境	読み聞かせ		学習環境	家庭学習のルール
	規範意識・マナー	あいさつ		規範意識・マナー	先生や友達との約束
	体験活動	親子で遊ぶ		体験活動	自然体験
小学校低学年の子どもをもつ保護者の方向け	生活習慣	朝ごはん	中学校・高校生の子どもをもつ保護者の方向け	生活習慣	生活リズムの自己管理
	学習環境	基本的な学習習慣		学習環境	家庭学習の自己管理
	規範意識・マナー	家庭内のルール		規範意識・マナー	携帯電話・インターネット等
	体験活動	お手伝い		体験活動	地域活動

お問い合わせ
お申込み
TEL:098-866-2746(受付時間/平日9:00-17:00)
FAX:098-863-9547
mail:yanare@pref.okinawa.lg.jp

検索

夢実現「親のまなびあい」プログラムの特徴

- 参加型(ワークショップ型の学習プログラムです。)
- 保護者同士が家庭教育について、共に気づき、共に考え、学び合うことができます。
- 子どもの発達に応じて4段階の構成となっています。

お問い合わせ
申し込み先
沖縄県教育庁生涯学習振興課 家庭教育支援担当
TEL 098(866)2746 FAX 098(863)9547
メールアドレス: yanare@pref.okinawa.lg.jp

